

株式会社ジェイコムイースト 西東京局 第16回 放送番組審議会 概要

【日 時】 2011 年 11 月 21 日(月) 午後 2 時～3 時 30 分

【場 所】 株式会社ジェイコムイースト 西東京局

＜放送番組審議会委員＞（五十音順）

ご 出 席

坂 井	明 成 様	下 崎	闊 様	高 木	亮 教 様
田 中	茂 夫 様	松 永	和 子 様	村 田	清 様

ご 欠 席

今 村 広 司 様

1. 開会及び委員のご紹介

ご出席の委員の方々の紹介(下崎委員は新たにご就任)。

ご出席委員は 6 名(ご欠席 1 名からは委任状を受領)。本会議は定足数に達しているため成立。

2. 議 事

① 西東京局の事業報告

② J:COM チャンネル 番組紹介及び放送実績報告

DVDを視聴しながら別紙資料にのっとり説明

3. 質疑応答 意見交換

(データ放送画面について)

委員 友人には仕事をリタイヤした高齢者が多い。4 月以降の編成は高齢者向けではなく残念に思う。J:COM チャンネルがデジタル化されたことで、強制的にデータ放送画面になり、大きな画面に切りかえられず、仕方なくアナログで視聴しているという声も聞いている。

事業者 番組によっては初期設定でデータ放送画面になっているものがある。リモコンのデータボタンを押すことによって大きな画面に切り替えられる。リモコンの使い方に関しては、カスタマーセンターに電話していただければ、訪問での説明が可能である。

(地域情報番組について)

委員 地域情報番組が『むさしの☆ウエスタン』になってから放送エリアが広がった。以前は東久留米市のイベントをよく取り上げていたのに、今は他の地域のことばかりのようである。地元では放送されることによって仲間意識が強まっていただけにさびしい思いをしてい

る。

事業者 できるだけきめ細かく対応することを心がけているが、至らぬ点があるかも知れない。対象の地域をバランスよく取材することは、解決していかなければいけない課題のひとつだと認識している。「生活圏」というコンセプトで制作をしており、地元への集客をはかる意味ではよい面もあると思う。

(J:COM チャンネルの展開について)

委員 J:COM チャンネルのアナログを含めた 11CHとハイビジョンの 10CHの性格付けや今後の展開はどうなっているのか。地域に根ざしたもっと身近なチャンネルであってほしい。

事業者 10CHのハイビジョン放送は試験的な先行放送であり、チャンネルの性格付けをするまでには至っていない。今後両方ともハイビジョン画質にして、地域放送と広域放送に分けるというような動きもあるが、時期や詳細は未定となっている。

(EPG機能について)

委員 HDRを使用しているがとても便利である。EPGでは 1 週間先までしか表示がないため、J:COM マガジンを送ってもらっていないので、月内の先の予約ができない。

事業者 商品を開発する部門に改善要望として伝えておくようにする。

(地デジ化について)

委員 加入率について、7 月の地デジ化の貢献はあったのか。

事業者 J:COM 加入世帯には 2015 年までデジアナ変換を実施していることや、一般の未加入世帯には地上デジタル対策が講じられたため、加入への関心が薄れているようである。今後もふた桁成長を目指して取り組んでいる。

(J:COM チャンネルのPRについて)

委員 地域情報誌に携わっていると、取材先で「J:COM は来てくれるのか」とよく聞かれることがあり、地元に興味がある人がとても多いということの表れだと思う。タイトルからしても面白そうな番組があるので、もっと具体的にPRをしていったほうがよい。未加入世帯にはどういう宣伝方法を用いているのか。

事業者 宣伝方法は常に課題のひとつと捉えている。加入営業の際の J:COM チャンネルの訴求、取材先でのチラシ配布、地域情報誌や地域FM局に取り上げてもらうようにしている。不特定多数の方が集まるイベントでのチラシ配布やサークル、市民活動団体にも働きかけていきたい。いろいろな可能性を模索したい。

(取材依頼)

委員 都立総合高校のサッカー部が全国大会に出場することになったので、取り上げてほ

しい。

事業者 ぜひ検討したい。

(取材先の選択について)

委員 それぞれの地域のイベントが同じ日に重なってしまうことが多いと思うが、選択の基準や順番があるのか。

事業者 順番の場合もあるが、そのイベントの社会性、ニュース性、イベント自体の魅力など他とのバランスを考えて選択している。

(番組タイトルについて)

委員 『遂者の誠なる失敗』というような工夫を凝らした番組のタイトルは、どのようにして決めているのか。

事業者 制作の担当者が起案し、部内で決定することが多い。10 月から落ち着いた番組を増やしてみたので、固いタイトルとなっているかも知れない。

(番組のありかたについて)

委員 メディアセンターの統合によって放送エリアが広がった。それに伴いひとつの番組の放送エリアが広がったことで、個々の地域を取り上げる頻度が減っているようである。今後はいつ、どこで、どのような出来事があるのかということをもっと伝えてほしい。番組のニュース性を高めてほしい。つまり、これを見れば地域のことがわかるというような番組を作してほしい。

事業者 J:COM チャンネルが目指すべきところは、民放が取り上げないような、地域のコアな話題を取り上げることにあると思う。これまで色々な番組を作ってきたが、今はややバラエティ色が強い傾向にある。地域情報にバラエティ要素はいらないという意見もある。できれば、毎日生放送ができるような体制を作っていきたい。

4. 閉 会

予定時刻となったため、以上で第 16 回放送番組審議会を閉会する。

以上